

学園
NEWS

地域の防災を学びます 4年生が村役場で質問

10月6日には4年生が、村役場を訪れました。社会科の授業の環境で、地域の「防災」について学ぶためです。4年生は、防災担当の職員から、防災計画を作成中であることなど取り組みについて聞き、備蓄している非常食なども実際に見せてもらいました。4年生は「避難所はどういう場所につくるのですか」「非常食に飽きてしまわないよう、そんなことまで考えるんですね」など、感想を伝えたり質問をしたり。自ら学びを深める態度が素晴らしかったです。



役場の会議室で防災担当の職員にどんどん質問！

学園
NEWS

ドンニヤイ村の施設建設へ 児童生徒が収益金を寄付

東京オリンピックパラリンピック2020で村がホストタウンを務めるラオス。児童生徒は「いいたて学」の学びを通して、同国南部のサラワン県ドンニヤイ村と交流を深めています。「イイタネちゃんポーチ」の開発・商品化・販売もその一環で、限定300個を売り上げた収益金と募金を合わせた約31万8000円を、同村交流施設の建設資金として寄付しました。村も同じ目的で120万円を寄付します。

各方面からいただいた支援への感謝も込めながら、児童生徒の取り組みは、さらに続きます。



10月12日に行われた贈呈式。交流をつなぐアジア教育友好協会（AEFA）に寄付目録を手渡す児童生徒の代表。「ラオスの力になりたい。ポーチはオリパラの選手にも贈りたい」

学園
NEWS

子ども達と紡いだ物語をモチーフに いせ先生のアクリル画を展示

画家で絵本作家のいせひでこ先生が描いたアクリル画2点が、学園の正面玄関に飾られました。震災後、絵本「木のあかちゃんズ」と絵画を贈ってくださったいせ先生。その後も毎年、絵画制作や工作の特別授業を行ってくださいました。今回展示された2点の作品は、学園の児童生徒のために制作されたものです。



アクリル画の除幕を行った披露式の様子。いせ先生の言葉に耳を傾け作品を鑑賞しました

その3

「NIE」=Newspaper in Education

新聞を活用して読解力の向上を目指そう！

4年生以上の学年でNIE（新聞を活用した取り組み）を進めています。朝の時間などに新聞を読み、記事の内容やそれに関する自分の考えを伝え合うなど、新聞を活用して読解力の向上に努めています。



いろいろな記事の面白さを感じたり、社会のできごとに関心が高まったりしています

お知らせ
したい！

学園
レポート

いいたて希望の里学園

義務教育学校のメリットを生かす
教育活動をレポートします



学園
NEWS

スポーツ公園でのびのびと躍動 川俣町との陸上交歓会

6年女子100mのレース。手前から2人目が「いいたて希望の里学園」の高倉凛さん



川俣町の各小学校から選手が出場する「川俣町小学校陸上競技大会」が、昨年度から「いいたて希望の里学園」で開催されるようになり、飯館村からも5・6年生が参加して、「川俣町・飯館村小学校陸上交歓会」が同時開催されています。9月30日の大会当日は晴天に恵まれ、村から出場した5・6年生が、短距離走、ボール投げなどの種目に全力を尽くしました。また、男子は400mリレーにも出場し、自己ベストを更新する力走。グラウンド脇では下級生や保護者の皆さんが、声援と拍手を送り続けました。

学園
NEWS

ハチ公 お色直し 6年生が協力しました

交流センター「ふれ愛館」に置かれていた忠犬ハチ公のオブジェ。東京都の渋谷公園通商店街振興組合などから、村民の帰村を待つ象徴として平成25年に寄贈されたものです。同振興組合の関係者で村に移住した塚越栄光さん（までい大使／草野）からの提案を受けて、6年生が、このハチ公の塗り直しに協力。「自分達が皆とハチ公の絆になろう」と話しなが作業に取り組みました。



6年生は昨年渋谷公園通りで花植えの活動にも参加しています。右手前が塚越さん